

明石市における  
更生支援の取り組みについて  
～やさしい社会を明石から～

明石市長・社会福祉士・弁護士  
泉 房穂

# 講演の流れ

1. はじめに
2. 私と更生支援のかかわり
3. 更生支援のポイント
4. つなぐ、ささえる、ひろげる
5. 更生支援・再犯防止等条例
6. 更生支援と被害者支援とは車の両輪
7. “やさしい社会”を明石から

# 1. はじめに ～本日お伝えしたいこと～

## 更生支援は

- 1 社会にとって必要なこと  
国や自治体の**本来的な仕事**
- 2 「あたりまえ」のことをやるだけ  
ほんの少しの工夫と配慮
- 3 つながることが**最も大切**  
司法と行政と福祉と地域の**連携**
- 4 まちの安全・発展につながる  
**市民みんな**のための施策

## ～ 自己紹介 ～

泉 房穂 いずみ ふさほ



- 1963年 明石生まれ
- 社会福祉士
- 弁護士
- 元 衆議院議員 超党派での議員立法制定に奔走
- 元 NHKディレクター
- 2011年より明石市長（現在3期目）
- 柔道3段，手話検定2級，明石タコ検定初代達人

# ～ 明石市の紹介 ～



子午線上に建つ  
明石市立天文学館

歴史の  
まち

明石城はさくらの名所

時の  
まち

世界最長  
明石海峡大橋

海  
の  
まち

愛されるブランド  
明石鯛

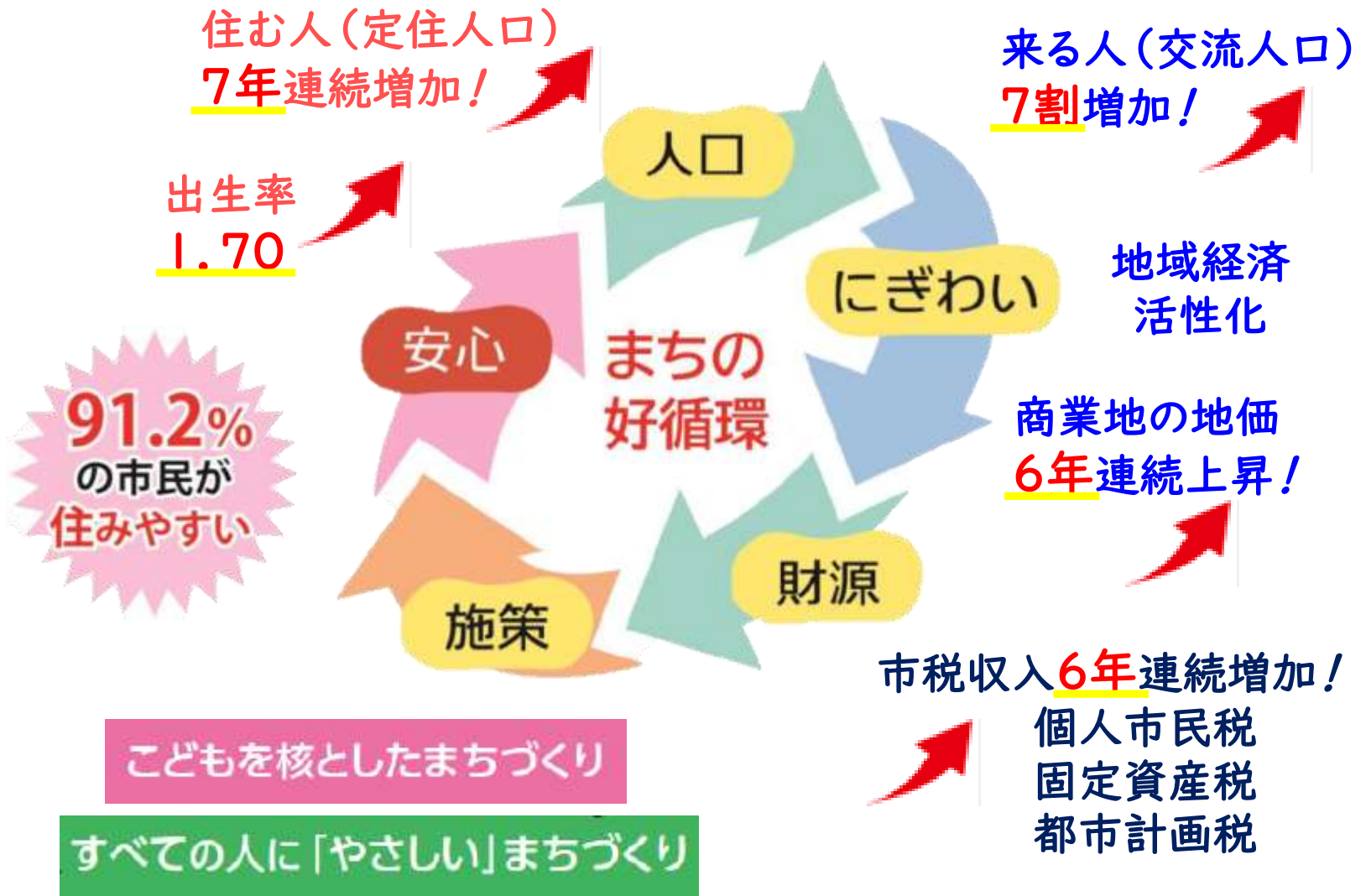
明石たこ大使 さかなづん

©2015 AMAN 明石 商標 明石Tm

人口 約30万人

面積 約50 km<sup>2</sup>

# まちの好循環が拡大



## 2. 私と更生支援のかかわり

### 1 弁護士として

- ・高齢者や障害者などに対する  
**更生支援の必要性**を痛感  
町弁として活動



23 社 会

2009年(平成21年)7月2日 木曜日

(第3種郵便物認可) 新 戸 申

## 「息子に会う」「更生の支えに」

昨夏、明石市内の店で食料品を万引したとして60代の男が逮捕、起訴された。住所不定、無職。路上生活が長い。捕まった国選弁護士に投げやりな態度で言い放った。「釈放されても、公園で寝転がるだけ」。しかし、意外な身の上話も漏らした。「20年以上前に別れた息子がいる。死ぬ前に一度会いたい」

(平岡雅彰)

弁護を担当したのは、同市内で開業する泉房種弁護士(49)。裁判資料を手掛かりに、大阪にいる長男を捜し当てた。手紙を送るが、返事はない。重ねて手紙を送り、父の社会復帰に向けて協力を頼んだ。初公判の2週間後に返事が届いた。

長男は、父と再会すべきか、無視すべきか、すいぶん迷ったという。父が家を出たのは小学生の時。今は結婚し、平穏な暮らしもある。手紙に複雑な心境をつづった。

「そんなみっともない状態では会えない。ちゃんと生活できるようにしてから会いたい」(安月給から10万円送る。被害者に弁償し、残りは生活費に充て)。

接見室で、男性は何度も手紙を読み返した。そして言葉を書き出した。「弁護士さん、やり直さないでしょうか」

一方、男性のきょうだいら親族は「面倒なことばかりか

### 明石で万引の元ホームレス

### 息子が会う」「更生の支えに」

### 自暴自棄やめ、故郷で畑仕事

「九州の実家に戻って畑仕事して暮らしています。キャベツが収穫できたら送ります」

男性は今、農作業に汗を流して暮らしている。

◇

社会福祉士でもある泉房種士は最近、ミニコミ紙の連載で、このいきさつを取り上げた。再犯を防ぐために周囲の支えが必要などを伝えたかった。「罪を犯した人を排除し、孤立させれば、再び罪を犯す結果につながる」と話している。

「とにかく」と当初は冷やかだった。しかし、次第に泉房種士の思いが届く。嘆息書を送ってきたり、遠方から裁判の傍聴に訪れたり。証人として出廷した妻は「親戚みんなで見守っていて」と述べた。

結局、男性は罰金刑の判決を受けた。

釈放の約1カ月後、泉房種士に男性から電話があった。「九州の実家に戻って畑仕事して暮らしています。キャベツが収穫できたら送ります」

男性は今、農作業に汗を流して暮らしている。

## 2 国会議員として

“行動する国会議員”として

司法と福祉の連携を訴え、精力的に活動





# 3 社会福祉士として

- ・2007年、社会福祉士の資格を取得
- ・日本社会福祉士会、リーガルソーシャルワーク委員会の立ち上げに携わる



2009年(平成21年)4月27日 月曜日 14版 社 会 26

## 知的障害、高齢者の再犯防げ 出所後の自立後押し

■ 弁護士や福祉関係者、刑務所連携

支援者に囲まれ、再出奔を誓う男性（中央）＝26日午前、明石市内

### 生活保護申請、住居を確保

「戻った弁護士や福祉関係者や連携し、服居中から再入所を立ため、男性は福祉サービスを受ける必要がなかった。取得は十八歳まで知覚があった証明が必要だが、小学校時代の書類を練りあげ、申請に添付した。」

既に労先も確保し、今後、生活保護の申請など幅広くサポートする。男性は「じわり働いて、残りの人生をまじめに生きてい」と語った。

〇六年の法務省調査では、引退率のない満期釈放者七十一人中、障害者や高齢者は約十人を占める。こうした支援は、厚生労働省が〇九年夏から各都道府県に設置する「地域生活定着支援センター」（仮称）の活動を先駆けたもので、関西では初のケースとみられる。

支援者の一人、明石市の知的障害相談事業所「オアシスの山下孝光所長」は「福祉サービスが受けられず、再犯を繰り返す知的障害者もいる。出所からの支援が欠かせない」と話す。

二十六日午前八時半。た。知的障害がある男性が、同センターを後にし、職にも長続きできなかった。入所時の所持金は百た。両親は死、身寄りもなかった。刑務所生活が長く、腰痛に悩まされていた。支援者が万引し、二〇〇五年に家内を再犯の恐れがあるた。刑務所もボランティアで部屋の掃除を手伝った。センターの呼び掛けで。

二十一日午前八時半。た。知的障害がある男性が、同センターを後にし、職にも長続きできなかった。入所時の所持金は百た。両親は死、身寄りもなかった。刑務所生活が長く、腰痛に悩まされていた。支援者が万引し、二〇〇五年に家内を再犯の恐れがあるた。刑務所もボランティアで部屋の掃除を手伝った。センターの呼び掛けで。

## 4 篤志面接委員として

播磨社会復帰促進センターの  
初代篤志面接委員として活動

- ・ 無料法律相談の実施
- ・ 収容者の療育手帳取得に奮闘



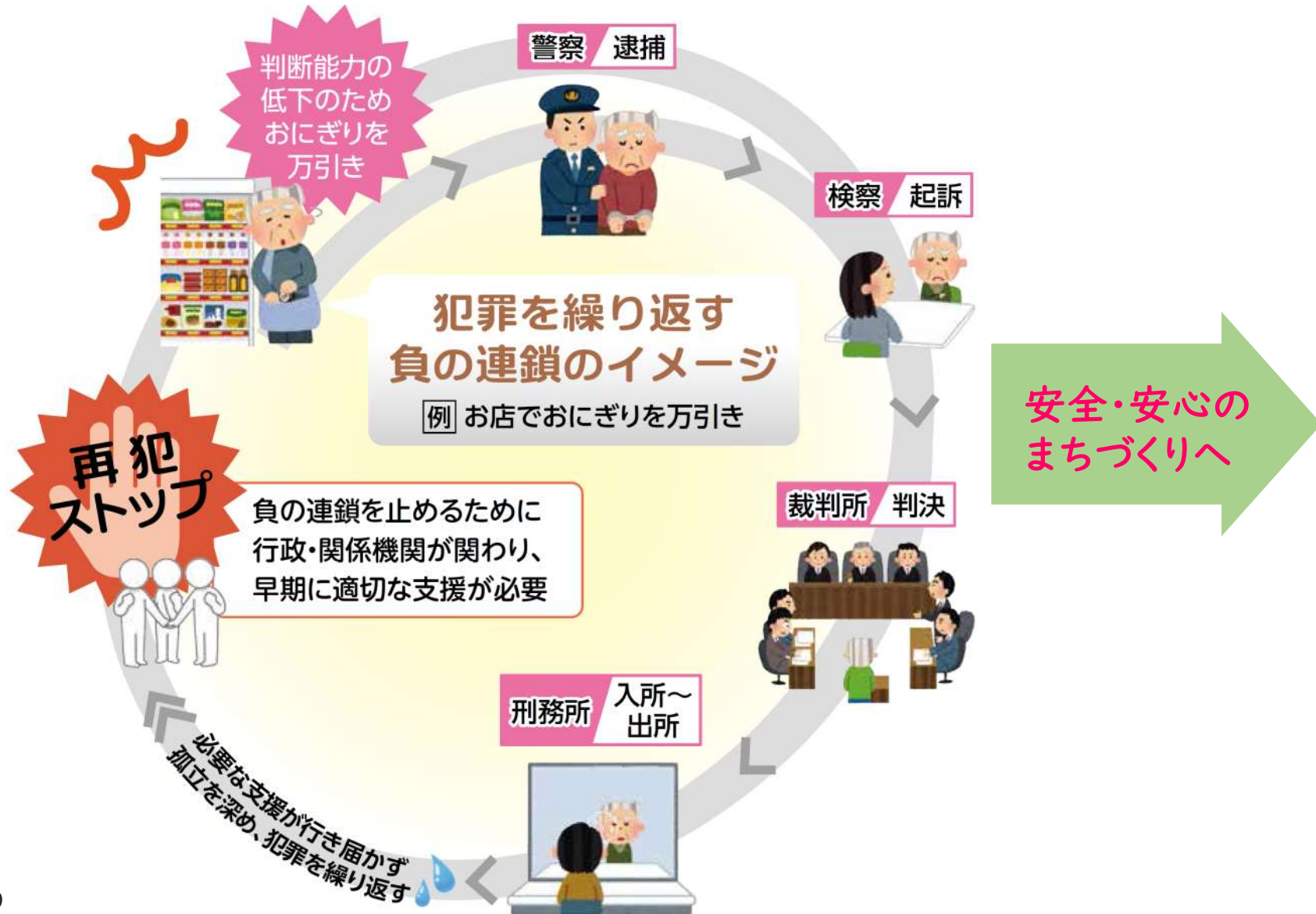
官民共同 (PFI方式)  
地域との共生 (構造改革特区)



### 3. 明石市における更生支援のポイント

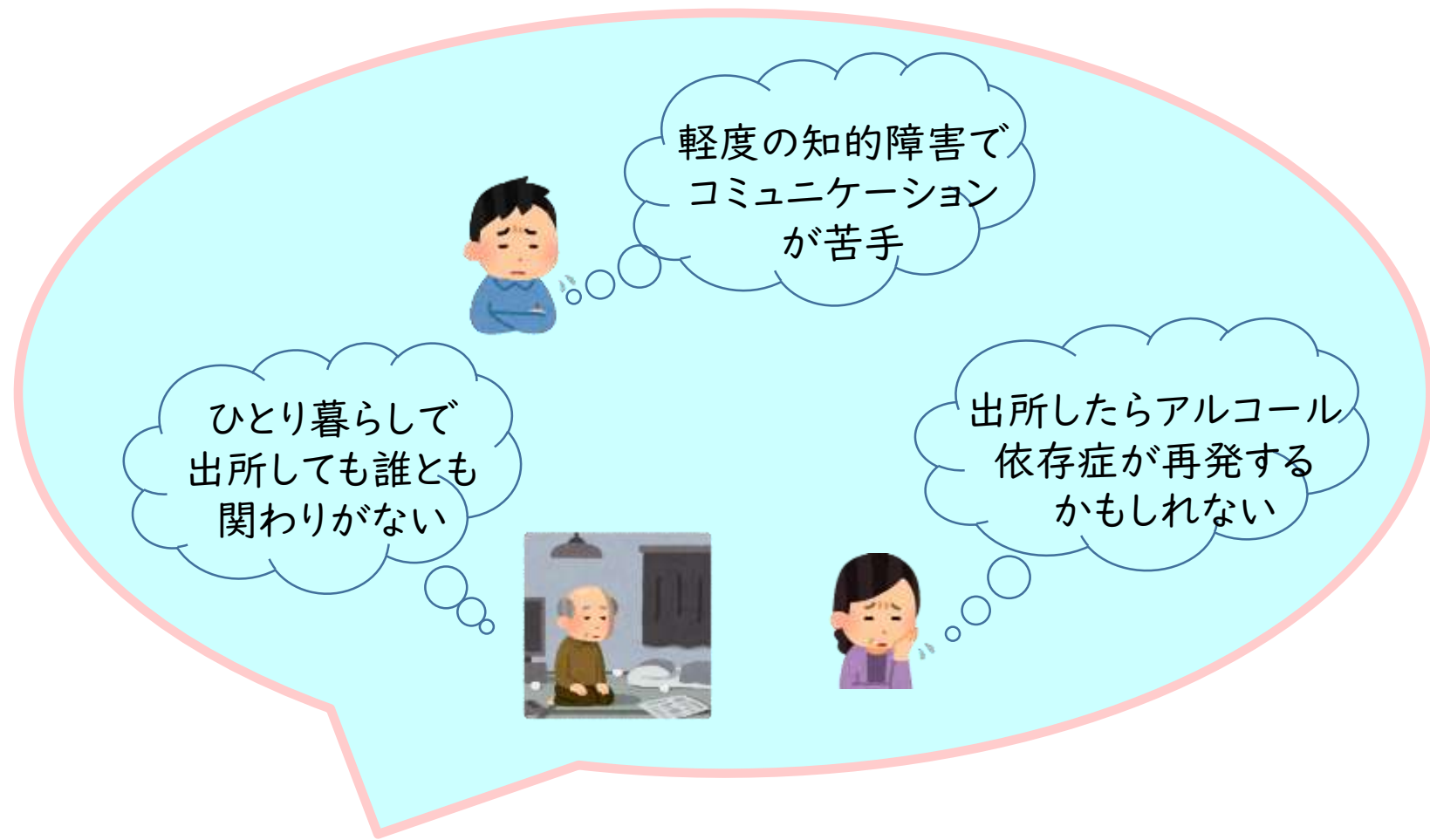
- 1 **目的** 本人のため、家族のため、まちのため
- 2 **対象** すべての人 かつ その人  
(ユニバーサル) (個別性)
- 3 **主体** まちのみんな(関係機関を含む)
- 4 **時期** いつでも、ずっと
- 5 **内容** 一般的な行政サービス + 一定の配慮
- 6 **方法** 連携 と アウトリーチ と 関係者の理解  
(つなぐ) (ささえる) (ひろげる)
- 7 **視点** 本人目線

# 目的 本人のため、家族のため、まちのため



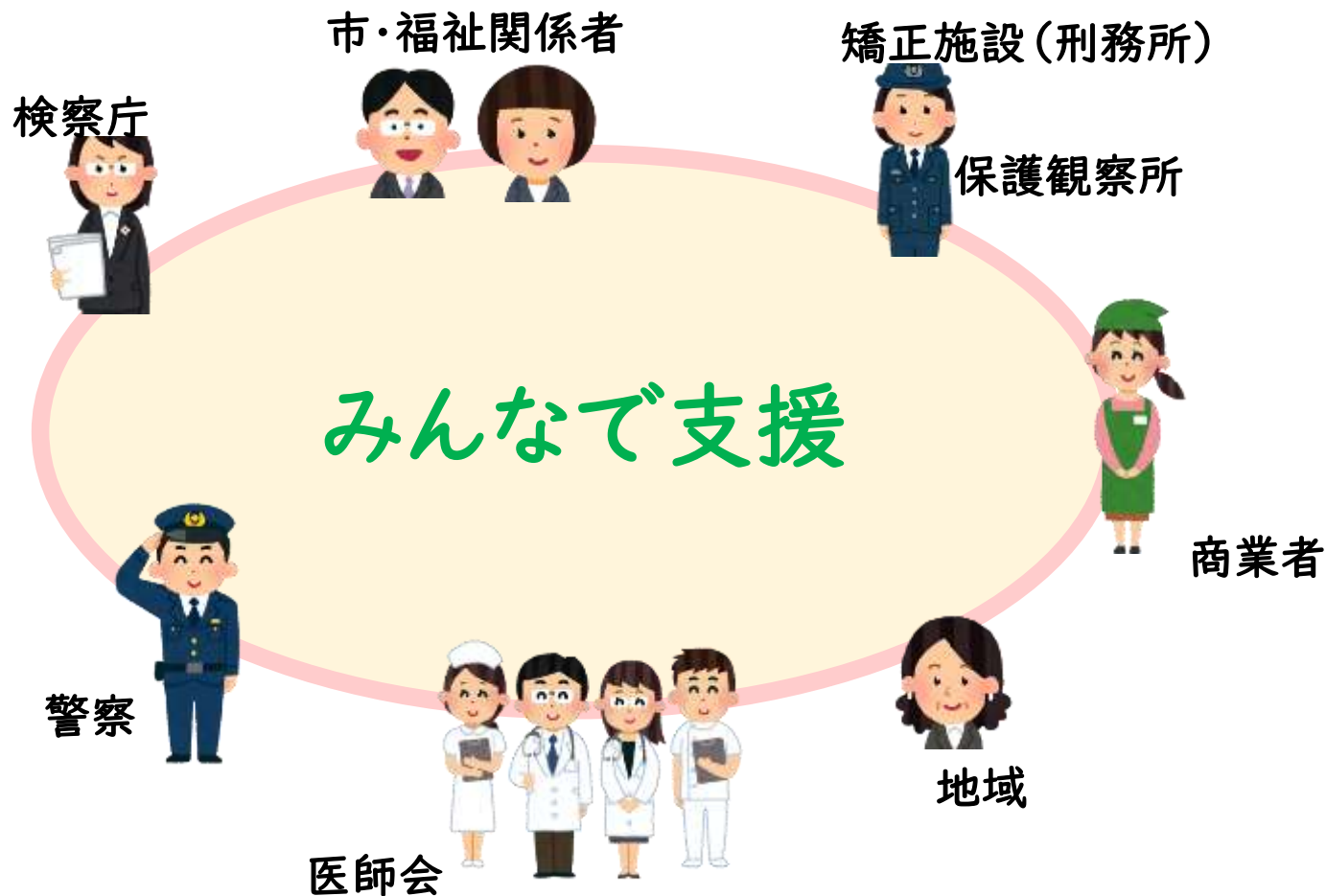
## 2 対象

すべての人 かつ その人  
(ユニバーサル) (個別性)

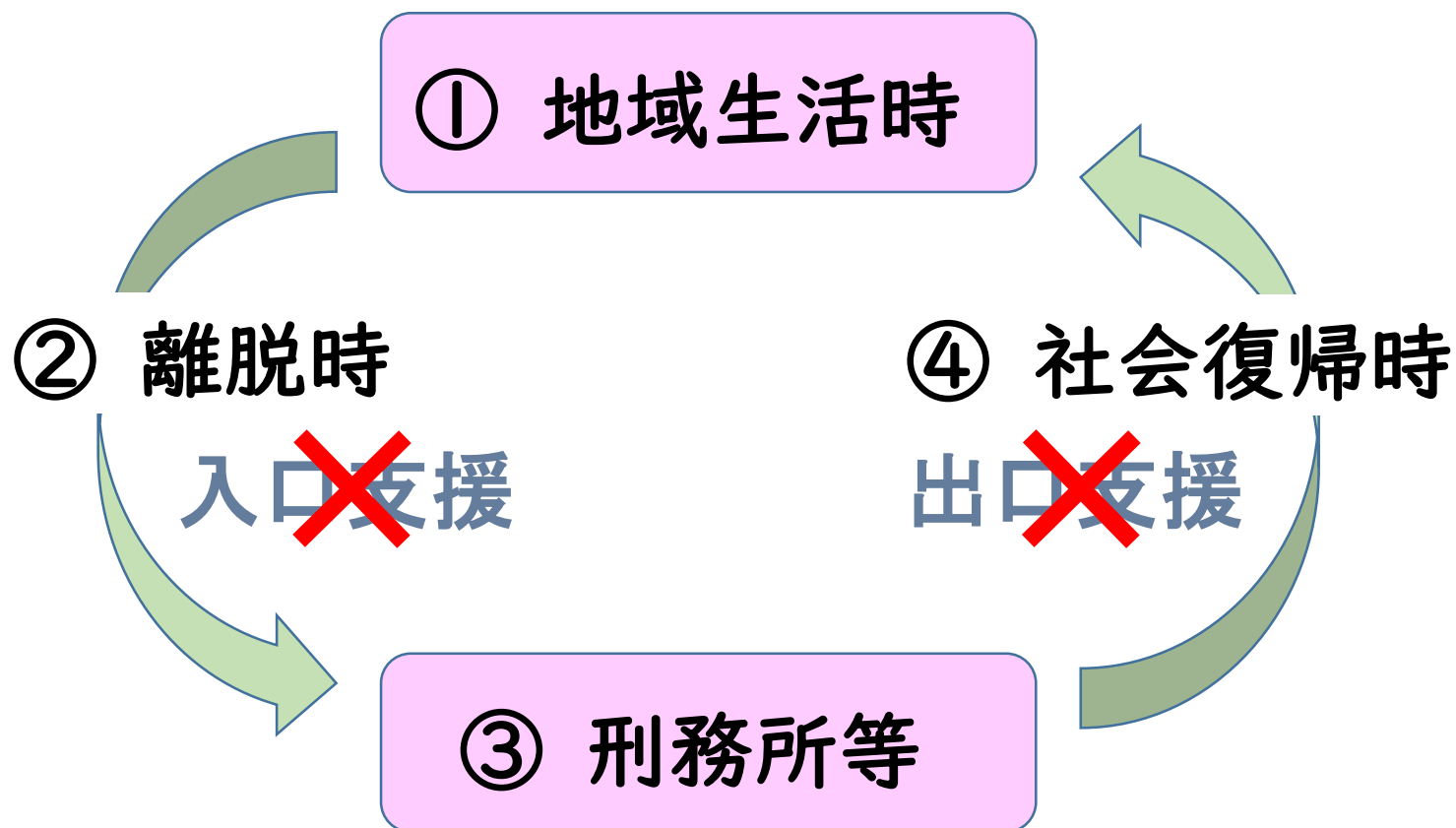


すべての人の、それぞれの事情に応じて支援

# 3 主体 まちのみんな（関係機関を含む）



## 4 時期 いつでも、ずっと



# 継続的支援のコーディネート

主に、以下の3つの側面からの支援を行い、  
対象者の地域社会復帰をサポート

## ① 福祉的支援

障害福祉、介護サービス、生活保護等  
福祉サービスにつなぐ

## ② 就労支援

関係機関や民間企業と連携し、  
就労を支援

## ③ 地域的支援

保護司や民生児童委員をはじめとした  
地域の関係者と連携した見守り等



## 5 内容 一般的な行政サービス + 一定の配慮

既存の行政サービスを、事案に応じて提供

- ・ 発達診断および障害者手帳の申請の支援
- ・ 介護保険の要介護認定申請の支援
- ・ 福祉／介護／医療サービス受給への支援
- ・ 日中の居場所支援
- ・ 就労支援
- ・ 法定後見制度の活用（保佐など）
- ・ 生活保護の同行申請
- ・ 帰住先／定住先確保の同行申請 など



## 6 方法



### 連携（つなぐ）

- ・ 関係機関によるネットワーク構築



### アウトリーチ（ささえる）

- ・ 継続的支援のコーディネート



### 関係者の理解（ひろげる）

- ・ 市民への啓発（講演会、パネル展示）

⇒ 取り組みの**三本柱** ※詳細は後述

## 7 視点 本人目線

“再犯防止”は他者目線

⇔ “更生支援”は本人目線

【取り組みの理念】

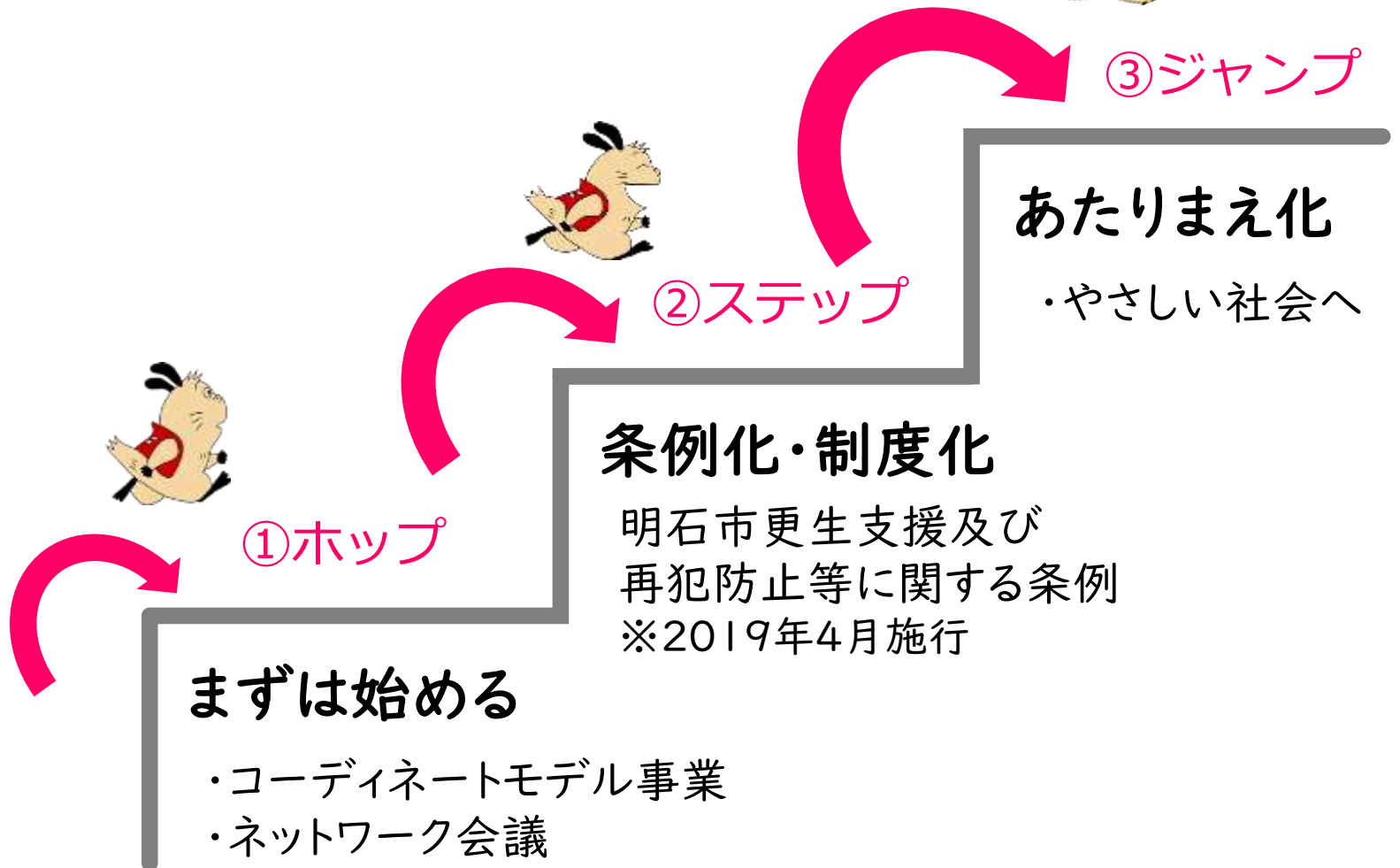
更生：やり直す

甦：生まれかわってやり直す



更生ペンギン  
ホゴちゃん

# 明石市の取り組み



## 4. 取り組みの三本柱

### 1 つなぐ

関係機関との連携、ネットワーク化

### 2 ささえる

個別面談支援・手続支援、コーディネート

### 3 ひろげる

広報紙・フェア、イベント、サポーター養成

# 明石市の地理的特徴

兵庫県 明石警察署



神戸地方検察庁(明石支部)



神戸地方裁判所(明石支部)



神戸刑務所



市内に刑務所など刑事関係施設が多く存在している

# 丨 つなぐ ネットワーク化

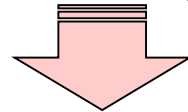
関係機関によるネットワークを構築

「明石市

更生支援ネットワーク会議」

機関同士の連携・情報共有が目的

第1回(2016.7) 26団体



第4回(2018.6) 37団体



第2回 更生支援ネットワーク連絡会議  
(2017.4.14)

# 認知症高齢者 再犯抑止へ

## 明石市

万引などの罪を犯した明石市内の軽度知的障害者や認知症高齢者の再犯抑止策を進める「明石市更生支援ネットワーク会議」が1日、発足した。公的サービスが適切に受けられるように援助することで犯罪発生数減少を目指す。同日には、市の相談窓口を紹介したチラシを渡すモデル事業を始めた。(井原尚基)

市役所で同日あった初会合には、同市や検察、刑務所を含む23機関が参加した。

法務省などによると、高齢受刑者の1割以上に認知症の傾向があり、知的障害がある新規受刑者のうち約6割が再犯での入所という。

市は、生活保護制度の利用や障害者手帳取得という福祉サービスが、社会的孤立によって受けられないことが再犯要因の一つになっていると分析。各機関に呼び掛け、今回取り組むことにした。

チラシには、仕事や住居探しを含む総合相談窓口の電話番号を掲載。当初は、万引をした窃盗容疑で任意同行を求められた高齢者や知的障害者が帰宅する際、明石署が渡す。

県警生活安全企画課によると、相談窓口を記したチラシを警察署が配布する取り組みは珍しいという。市はモデル事業を継続しながら、刑務所から出た後も見据えた安定的な支援体制を2018年度ごろ整える。

更生ネット発足 公的支援、チラシで利用促す



# ネットワーク連絡会議 構成団体

## 【司法・矯正機関等】10団体

神戸地方裁判所明石支部(オブザーバー) / 神戸地方検察庁明石支部  
兵庫県明石警察署 / 神戸刑務所 / 加古川刑務所  
播磨社会復帰促進センター / 神戸保護観察所 / 神戸少年鑑別所  
更生保護法人神戸学而園 / 法テラス兵庫

## 【専門職団体】4団体

県弁護士会 / 県社会福祉士会  
県精神保健福祉士協会 / 県臨床心理士会

## 【関係団体・支援機関】4団体

手をつなぐ育成会 / 明石ともしび会  
明石市基幹相談支援センター  
明石市地域総合支援センター

## 【県機関】2団体

地域生活定着支援センター / 障害福祉課

## **【社会を明るくする運動明石地区推進委員会構成団体】**

### **7団体**

保護司会 / 更生保護女性会 / 民生児童委員協議会  
連合まちづくり協議会 / 連合PTA / 明石市  
社会福祉協議会

### **【医療機関】2団体**

明石市医師会 / 明石市立市民病院

### **【就労支援機関】4団体**

明石公共職業安定所 / 障害者就労・生活支援センターあくと  
明石商工会議所 / 商店街連合会

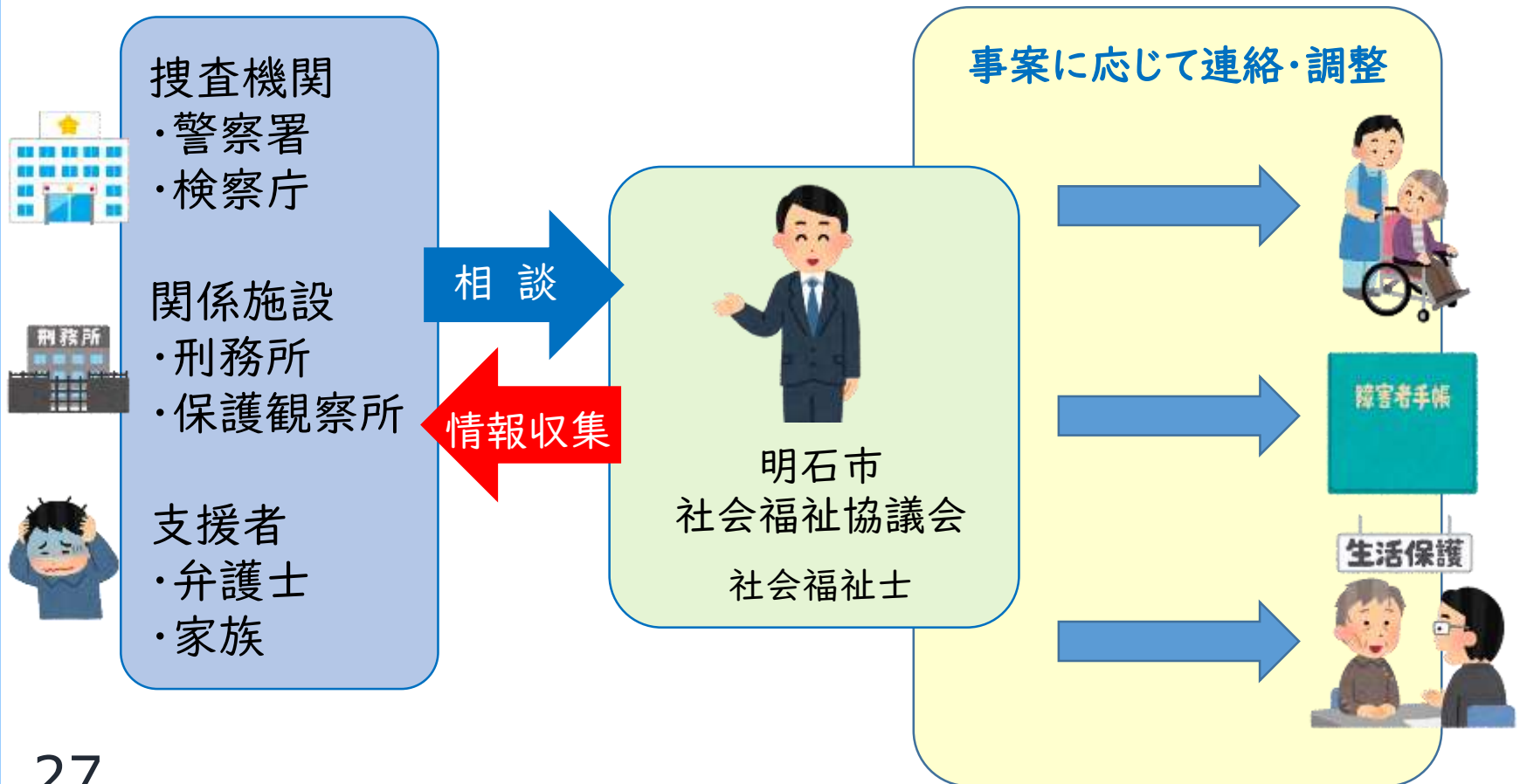
### **【民間支援団体】4団体**

チェンジングライフ / 神戸の冬を支える会 / チーム風  
神戸ダルクヴィレッジ

計37団体

## 2 ささえる 個別面談支援・手続支援

社会福祉士職員が対象者と面談し、支援に必要な  
アセスメント・コーディネートを実施



# 面談の結果、一人ひとりに必要とされる支援を判断し、申請手続を支援

例えば…

介護サービスが必要だが、手続きができていない

高齢者

高齢者総合支援室  
地域総合支援センター



障害者手帳の申請ができていない

障害者

障害福祉課  
基幹相談支援センター

障害者手帳

仕事ができず  
お金がない

生活困窮者

生活福祉課

生活保護



# 事例Ⅰ（捜査段階からの支援ケース）

## 1 支援のきっかけ

- ▷ 検察官が、障害を持っている可能性のある（障害者手帳は所持していない）被疑者（40代・男性）がいると、市役所へ相談

## 2 支援の内容

### ① 警察署での面談

職員が警察署で面会したところ、自閉傾向がうかがわれ、支援を決定

### ② 心理検査

保釈後に心理検査を実施したところ、軽い知的障害があり、福祉的支援を行うことに

### ③ 施設見学

面談での様子等をふまえ、Aさんに合いそうな就労支援施設を紹介し、職員も同行して見学

## 3 支援の結果

- ▷ 執行猶予の判決後に手帳の発行を受け、就労支援施設にまじめに通い、訓練に励んでいる



# 事例Ⅱ（出所前からの支援ケース）

## 1 支援のきっかけ

- ▶ 神戸刑務所が、出所後に帰る家無く、高齢者施設への入所を希望する受刑者（60代・男性）がいると、市役所へ相談

## 2 支援の内容

### ① 市職員による面談

職員が刑務所で面談したところ、「アルコールへの依存があり一人暮らしは心配。見守りがある施設で生活したい。」と希望

- ▶ 高齢者施設の職員に面談を依頼



## ② 高齢者施設の職員による面談

高齢者施設の職員が刑務所に足を運んで面談し、身体の様子や今までのアルコールの飲み方について聞き取り、施設への入所が決定

## ③ 出所後のフォローアップ

出所日に出迎えを行い、身の回りのものを揃え、施設へ入居。1か月後にも、市職員が施設に行って、トラブルがないか聞き取り

## 3 支援の結果

- ▷ 施設の行事を楽しんだり、リハビリを兼ねてお茶出しをするなど落ち着いた生活ができている



# 支援実績

【相談元別】

(単位：件)

年度	事件種別	警察署	検察庁	刑事施設	保護観察所	弁護人	障害者支援施設	社会福祉協議会	地域生活 定着支援 センター	発達支援 センター	市役所内他部署	本人・家族等	その他	小計	合計
平成27年度	入口		1											1	1
平成28年度	入口		3			2	2	1		1				9	12
	出口				1				2					3	
平成29年度	入口	1	4			1	1	2			3	1		13	33
	出口			14	1			2	1					18	
	その他										1	1		2	
平成30年度	入口	2	10			1	1	2			3	2		21	36
	出口			5							2	2		9	
	その他							2			2	1	1	6	
令和1年度 (R1.12.31現在)	入口	3	4			1		8			1	1		18	34
	出口			3								1		4	
	その他	1	2	2	1			4				2		12	
小計		7	24	24	3	5	4	21	3	1	12	11	1	116	116

# 支援実績

【障害等の内容別】

(単位：件)

年度	事件種別	高齢	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	無・不明	小計	合計
平成27年度	入口		1					1	1
平成28年度	入口	2	5			1	1	9	12
	出口	2					1	3	
平成29年度	入口	3	6	2		1	1	13	33
	出口	6	2	7	3			18	
	その他		1				1	2	
平成30年度	入口	7	4	5		3	2	21	36
	出口	3	5	1				9	
	その他	3	1	1			1	6	
令和1年度 (R1.12.31現在)	入口	4	4	7		1	2	18	34
	出口			4				4	
	その他	2	3	4		1	2	12	
小計		32	32	31	3	7	11	116	116

# 3 ひろげる 広報紙・フェア、イベント

## 市広報紙「広報あかし」で更生支援について特集

The collage shows several pages from the '広報あかし' newspaper. The top page features a headline: "全てを包み込むやさしさを 安心して暮らせるまちを みんなの手で" (With kindness that encompasses everything, let's create a town where everyone can live in peace, with everyone's hands). Below this, there's a large advertisement for the "あかし 行ってみよう! 聞いてみよう! 更生支援フェア" (Come see! Come hear! Rehabilitation Support Fair) held on July 7th (Saturday) from 11 AM to 5 PM at the Akashi City Hall. The fair includes a "更生支援フォーラム" (Rehabilitation Support Forum) with a speaker, Ms. Rumi Murakami (村木 摩子さん), and a "お楽しみ会" (Fun Party) with a raffle. The middle section features an article titled "ひろげる" (Hirogeru) about "更生支援に関わる ボランティア" (Volunteers Involved in Rehabilitation Support). The right side of the collage shows a "おかえりなさい" (Welcome Back) article about "更生支援の現状" (Current Status of Rehabilitation Support) and a notice regarding the "更生支援推進委員会" (Rehabilitation Support Promotion Committee).

# 「あかし更生支援フェア」の開催

2019年7月27日開催

講演：村木 厚子 氏 (津田塾大学客員教授)



<市民の声>

もっとこういう取り組みを  
広めて行ってほしいし、  
頑張ってもらいたい。



2017年7月1日開催

講演：江川 紹子 氏 (ジャーナリスト)



明石はリーディングシティ!  
これからの取り組みにも  
期待しています



# 「矯正展」の開催

“あかし更生支援フェア”において、  
“えきまえ矯正展”を同時開催  
市役所ロビーでも、定期的に開催



市民に定着



多くの市民でにぎわう

# 「あかし更生支援サポーター講座」を開催予定

～ いつまでも、みんな、支え合う地域に～

## 【目的】

「生活のしづらさ(高齢・障害・貧困等)」により  
罪を犯してしまう人がいる現状と、市の取り組みを伝え、  
地域共生の取り組みを拡大する。

【開催日】 2020年2月25日(火)、3月20日(金・祝)

【定員】 各回20名

【対象】 どなたでも申し込み可

【内容】 ・更生支援に関する講座  
・保護司との対談形式の講座

## 5. 更生支援・再犯防止等条例

### ▶ 時代背景

- ・国の再犯防止推進法の成立（2016.12）
- ・再犯防止推進計画の閣議決定（2017.12）

### ▶ 行政の役割

- ・更生支援の取り組みは基礎自治体の当然の責務

### ▶ 条例の必要性

- ・二元代表制の一翼を担う市議会の承認を得て制定  
⇒ 安定的・継続的な予算確保・施策推進が可能に

# 明石市の条例 4つのポイント

## ① 条例名

明石市 **更生支援** 及び **再犯防止** 等に関する条例

## ② 目的 (第1条)

**共生** のまちづくり推進と **安全安心** 社会の実現

## ③ 責務・役割・連携協力 (第4~7条)

市の責務、関係機関・市民の役割、連携協力

## ④ 地域共生 (第14~17条)

地域社会での **配慮**、地域活動への **参加促進**



# ① 条例名

## 明石市 **更生支援** 及び **再犯防止** 等に関する条例

2019年4月施行 (全国初)

### 更生支援

### 再犯防止

福祉的	司法・矯正的
本人支援	社会防衛
寄り添う	繰り返させない
下から	上から

**共生**

**安全**

## ② 目的 (第1条)

(前略)

罪に問われた者等の円滑な社会復帰を促進して

共生のまちづくりを推進し、また、

再犯の防止等の推進に関する法律が定める

地方公共団体の責務の趣旨を踏まえ、

市民が犯罪による被害を受けることなく、

すべての市民が

安全で安心して暮らせる社会の実現に

寄与することを目的とする。

### ③ 責務・役割・連携協力 (第4～7条)

#### (市の責務)

第4条 市は、個々に抱える事情等に応じて  
必要と認められる支援等を総合的に行う

#### (関係機関等の役割)

第5条 更生支援に関する施策に協力するよう努める

#### (市民等の役割)

第6条 更生支援に関する施策に協力するよう努める

#### (関係機関等の中の緊密な連携協力の確保等)

第7条 市は、連携協力の確保等を行う機会を  
設けるものとする

## ④ 地域共生 (第14~17条)

### (地域社会における共生の配慮)

第14条 市は、孤立することなく**平穏な日常生活**が継続できるように、日頃から**配慮**するよう努めるものとする

### (地域における見守り等)

第15条 生活状態等の事情を考慮し、日常生活等に関する**相談**に応じるものとする

### (地域活動への参加促進)

第16条 地域社会の公益的**活動等に参加**できるように配慮するものとする

### (親族等に対する情報提供等)

第17条 当該親族等の生活状況等にも十分配慮するものとする

## 〈参考〉条例検討会

### 条例検討会の構成員

矯正	警察	1名
	検察	1名
	刑務所	1名
司法	保護観察所	1名
	保護司	1名
	地域	定着支援センター
福祉	NPO法人	1名
	地域代表（地域自治組織）	1名
	福祉施設	1名
有識者	弁護士	1名
	学識経験者	2名

委員計 12名

### 《 検討過程が重要 》

関係者とともに協議し、理解を深めることで、強固な連携体制を構築

## それぞれの立場からの熱い議論



前千葉県知事 堂本 暁子さん  
(オブザーバー)

検討会で展開された更生支援、そして再犯防止推進法の本質に迫る真剣な議論に感動しました。

その結果を踏まえて作られた条例は、全国モデルになると確信しています。

### ❖ 制定スケジュール

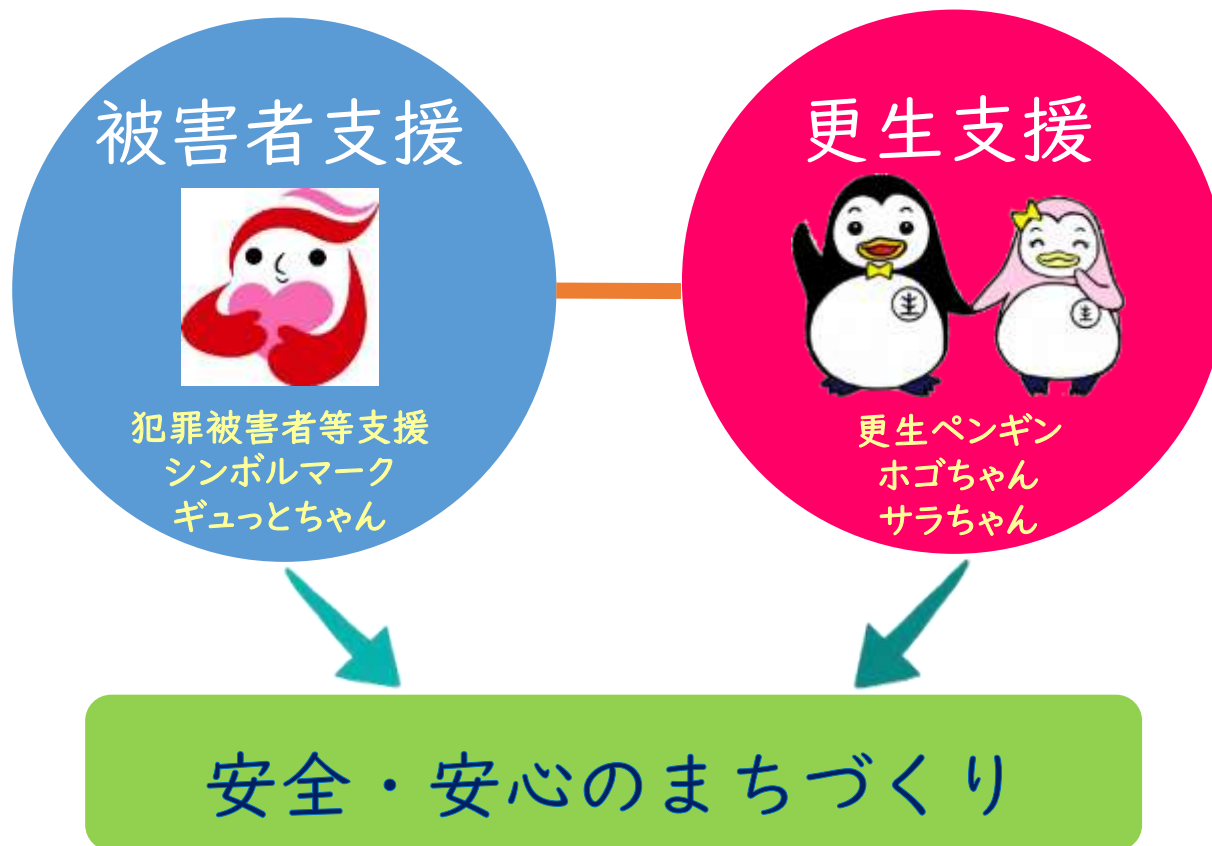
- 2018年 1月 第1回 条例検討会
- 3月 第2回 条例検討会
- 5月 第3回 条例検討会
- 7月 パブリックコメント実施
- 10月 第4回 条例検討会
- 12月 市議会に条例提案 ⇒原案どおり可決
- 2019年 4月 条例施行



## 6. 更生支援と被害者支援は車の両輪

誰一人置き去りにせず 支え合うまちづくり

被害者支援と更生支援は 車の両輪



# 犯罪被害者等支援



犯罪被害者等支援  
シンボルマーク  
ギュっとちゃん

被害者支援と更生支援は「車の両輪」

## 「明石市犯罪被害者等の支援に関する条例」

- ▷ 総合的支援(相談／生活／経済的)
- ▷ 犯罪被害者への  
賠償金立替支援金制度(上限300万円)の創設
- ▷ 二次被害防止を明記
- ▷ 再提訴支援
- ▷ 真相究明支援

全国初



# 明日被害に遭うかもしれない

## 「すべての市民」のためのセーフティネット施策



条例改正案の可決を受け記者会見に臨む（左から）高松由美子さん、土師守さん、櫻岡穂・明石市長、吉田敏明さん、鈴木節とし子さん  
—明石市庁舎1の明石市役所で

### 犯罪被害者支援条例

## 「明石から全国へ」

**改正案可決 土師守さんから期待**

4人は有罪者懲罰交した福岡県太宰府 市庁舎などで、当事者 市庁舎で約800 大阪理り01年 大規模な被害者支援 長男（当時10歳）を

殺したの重大事件で加害者の賠償賠償請求が時効で失われぬを防ぐため、再捜査費用の補助などを追加した明石市の「犯罪被害者支援条例」改正案が20日、市議会可決された。改正案づくりに関わった全国犯罪被害者の会（あすの会）メンバー4人は市役所で記者会見し、明石からの条例が全国に広まってほしいと訴えた。【本報記者 高松由美子】

改正案の狙いは「被害者への支援」を目的として、高松由美子さん（当時10歳）の被害者支援も加え、あすの会メンバーが出席し、7月の神戸・小学生連続殺人事件で次男（当時10歳）を亡くした土師守さん（但し）「兄弟姉妹への配慮も加わり、よかった人が増える」と期待し、被害者支援の重要性を訴えている。と市の姿勢を評価した。

明石市議会は20日、犯罪被害者やその遺族を支援する条例の改正案を、賛成多数で可決した。加害者が支払うべき損害賠償金を支援金として立て替え払いできることなどを盛り込んでおり、来年4月1日に施行する。市によると、自治体の立て替え金制度は全国で初という。被害者に30万円まで支給できる現行の条例を改正した。故意の犯罪で被害者が死亡したり重度の障害を負った場合、訴訟などで確定した賠償金のうち上限300万円までを市が立て替え払いできる。立て替え金は市が加害者に請求。また、介護や一時保育などの費用も補助する。条例改正では、被害者支援団体などとの意見交換を続けてきた。可決後に市役所で会見

### 犯罪被害者支援条例改正案を可決



可決した条例改正案について感想を述べる被害者団体のメンバー—明石市役所で

### 損害金を立て替えて替え 明石市、自治体で全国初

した全国犯罪被害者の会（あすの会）代表幹事代行、林良平さん（60）は「こうした条例が全国の標準になることを強く望む」と期待した。同会副代表幹事で、神戸連続児童殺傷事件で次男を亡くした土師守さん（67）も「立て替え金以外にも着実に進んだ条例」と評価した。【駒崎秀樹】



# ～ 明石市犯罪被害者等支援条例の**拡充** ～

## 《 主な内容 》

2011年4月 条例施行	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合相談支援窓口を設置</li><li>・経済的支援（支援金、貸付金）</li><li>・日常生活支援（家賃補助、家事補助）</li></ul>
2014年4月 改正条例	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合相談支援の充実（相談料、補助範囲など）</li><li>・立替支援金制度の創設（上限300万円）</li><li>・二次被害防止の明記（市の責務）</li></ul>
2018年4月 改正条例	<ul style="list-style-type: none"><li>・当事者の声を受けた新たな支援（対象拡大）</li><li>・既存支援の充実（要件、補助の見直し）</li><li>・国外犯罪被害者等への支援</li></ul>
2020年4月 改正予定 （検討中の内容）	<ul style="list-style-type: none"><li>（案）特例給付金制度の創設</li><li>（案）被害者基金の創設</li><li>（案）既存支援の更なる拡充</li></ul>

# 7. “やさしい社会”を明石から

“やさしい社会”とは・・・

お互いに助けあい 支えあう

“あたりまえ”の社会



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 明石モデルの全国発信

## 1 こどもを核としたまちづくり（未来）

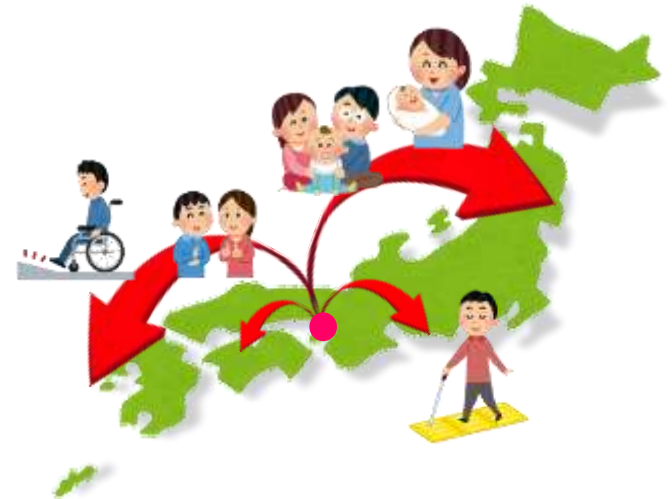
経済的負担の軽減

環境の整備・充実

## 2 セーフティネットの充実（安心）

誰一人置き去りにしない、みんなで支え合うまちづくり

明石市でできることは  
ほかの自治体でもできる  
持続可能なまちづくり



# 1 こどもを核としたまちづくり（未来）

## ① 経済的負担の軽減

**保育料** → 第2子以降は完全無料

**医療費** → 中学生まで完全無料

**遊び場** → 親子ともに利用料無料

▷ 「暮らす」「育てる」を重視



明石駅前再開発ビル内  
親子交流スペース「ハレハレ」

## ② 環境の整備・充実

保育所整備 → 5年間で5,700人の受入増（2016～20）

少人数学級 → 30人学級の段階的实施（小1から）

学童保育 → 学童指導員の半数以上が教員免許あり

▷ こどもの成長をサポート

# 明石市のこども総合支援

## 虐待防止・社会的養育の充実

- ・全国で9年ぶり
- ・児童相談所の新設
- ・あかし里親100%プロジェクト 全国初
- ・児童養護施設等と連携した養育支援

・全国で9年ぶり

・国基準の2倍の職員を配置

全国初

・アウトリーチ支援

・24時間相談ダイヤルなど

## 早期の気づきと支援

・妊娠期から  
子どもを支援

- ・妊婦全数面接
- ・乳幼児全数面接
- ・あかし版こども食堂

・全28小学校区に開設

## 学びを応援

- ・学校教室へのエアコン設置
- ・30人学級の導入
- ・本のまちの推進

・まずは

小学校1年生から

## 子育てを応援

- ・所得制限なし・中学生までの医療費無料化
- ・中核市規模では  
全国初
- ・第2子以降の保育料無料化

- ・大型遊具を備えた  
「あかしこども広場」

・入場料無料の駅前施設

## 寄り添う支援

- ・離婚前後の養育支援 全国初
- ・児童扶養手当の実質毎月支給
- ・無戸籍者支援 全国初

## 2 セーフティネットの充実（安心）

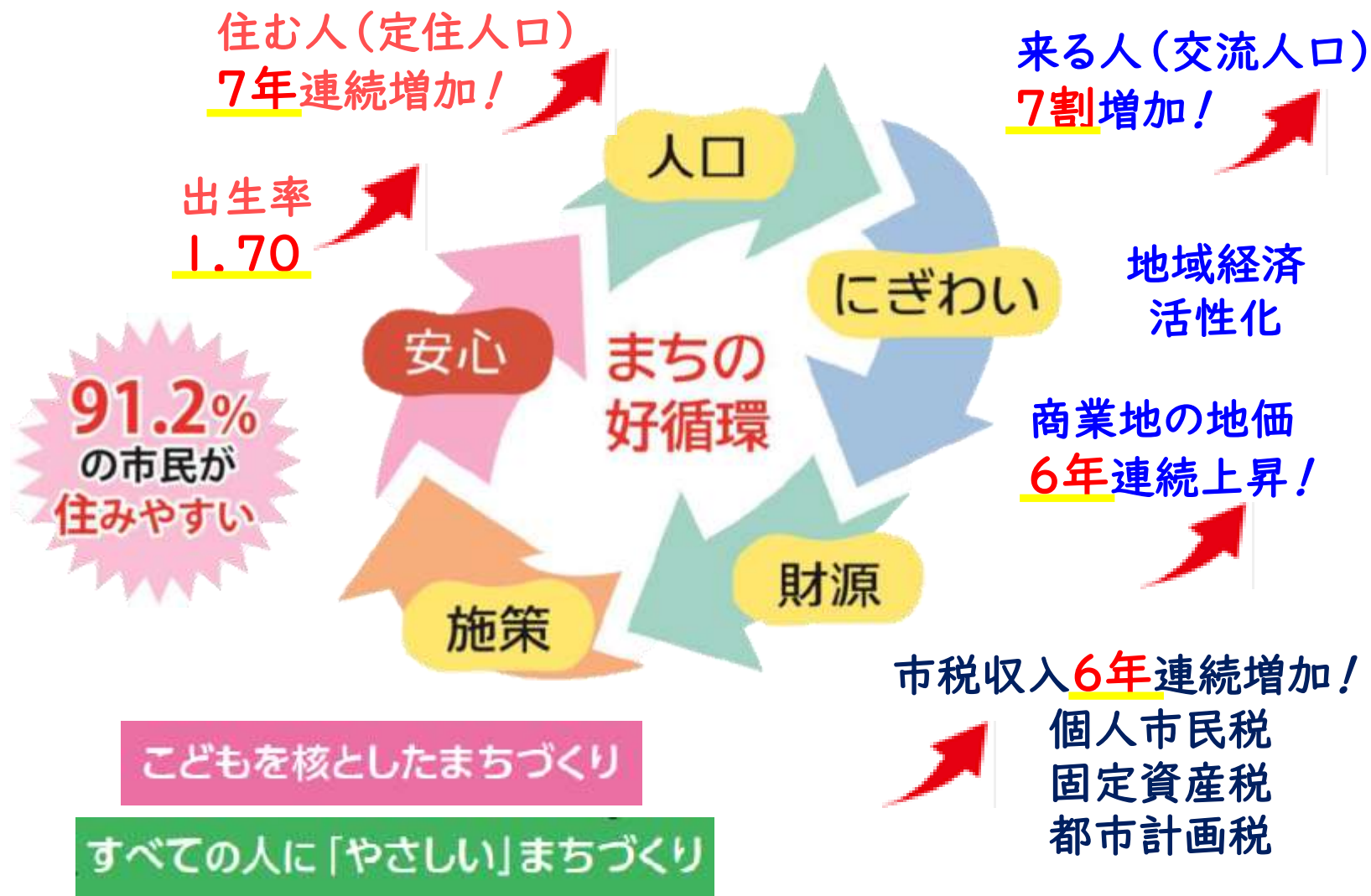
### 全国初の“あたりまえ”の施策

- ・離婚時のこども養育支援
- ・無戸籍児への総合支援
- ・障害者配慮条例（合理的配慮への公的助成）
- ・犯罪被害者への賠償金立替制度
- ・更生支援事業 …などなど

支援が必要なときに、必要な支援を

...その結果

## まちの好循環が拡大





# 市民満足度 が大きく向上！



まちづくり市民意識調査

明石が**好き**

**住**みやすい

2019年

**90.8%**



2019年

**91.2%**



「明石のまちに  
愛着を感じる」と  
回答した人の割合

「住んでいる地域が  
住みやすい」と  
回答した人の割合

2014年

**80.6%**

2014年

**83.0%**

# 更生支援は「やさしいまち・明石」の取組の一環

